



今月の特集 食物アレルギーを学ぶ



- | | |
|--|--|
| <p>P 1 0 学童保育と食物アレルギー
子どもたちを守るために知っておきたいこと</p> <p>P 1 6 息子と共に歩んできた日々を振り返って</p> <p>P 2 1 みんなが安心しておやつを楽しめるように</p> <p>P 2 6 子ども・保護者と共に安全におやつを楽しむために</p> <p>P 3 1 小学校における食物アレルギー対応</p> | <p>森 蘭子</p> <p>市川 かほ</p> <p>江原 かおる</p> <p>石田 恵子</p> <p>中島 綾子</p> |
|--|--|

P59 出会い 集い 父母会 「みんなで楽しめる学童保育を」願って

福岡県宗像市 吉武小学校学童保育所 保護者 吉永 優美

「みんなで攻めていこう！」になかなかしびれました。昨今の状況を鑑みれば、消極的になってしまいそうになりますが、「みんなで楽しむ」を軸に置き、話し合いを通し交流の場をつかっていける吉武小学校学童保育所はとっても楽しそうだな～と読んでいて伝わってきます。



みんなで楽しむってシンプルだけど、難しいと思います。なかには消極的な方もいらっしゃると思いますが、そこは熱量でカバー！脱帽です！！

P46【講座】 子どもの生活と発達を学びほぐす臨床的試論 「一緒にあそぶ」 —— 参加の状態を考える 小淵 隆司

一緒に遊ぶとは？「一緒にあそぶ」とか「なにかを一緒にやる」ということは、単に「一緒に行動をしている、いない」ということだけで見ることはできない？

文化としてのあそび、時間・状況の変化と参加状態、楽しさの共鳴の観点から、今回は「一緒にあそぶ」を再考してくれています。

とても興味深い記事になっています。

是非是非読んでみて下さい。



いつ読んでも名作ですね。なんでひとつの絵で短い文でこんなに面白いと思わせてくれるんでしょうか。大人にはなかなかできないですね、さすが。



まだまだ見どころがたくさんあります。個人的には「読者のひろば」がおすすめです。



「日本の学童ほいく」誌は、日本中の選抜された保護者、指導員、学童保育所研究者の方々との編集会議をもとに、学童保育に特化して構成して作られた唯一の月刊誌です。

福岡県連協は、この月刊誌を是非たくさんの方々の保護者、支援員、学童保育関係者の方々に飛んでいただきたいと思い、見どころ【ひらいてみちやりい】を配信することにしました。

毎月担当を変えて、それぞれの視点から見どころを紹介していきますので、是非購読申し込みをお待ちしております。

申し込み先：福岡県学童連絡協議会

TEL：093-662-6000

FAX：093-662-6006